

編集発行責任者 伊藤 洋

〒125-8506 東京都葛飾区青戸6-41-2

TEL:03-3603-2111 (代表)

URL:<http://www.jikei.ac.jp/hospital/katsushika/>

E-mail:aotokouhou@jikei.ac.jp

INDEX

01. 院長・副院長のご挨拶
02. WEB外来診療予約を開始致しました
03. WEB外来診療予約を開始致しました
04. 放射線治療部門再開のお知らせ、編集後記

院 長 ・ 副 院 長 の ご 挨 拶



院長 伊藤 洋

葛飾医療センターは、新病院として開院してから今年で5年目を迎えることになりました。これまで大過なく病院運営ができましたのも、地域の皆さまのご支援・ご協力の賜物と深く感謝申し上げます。

さて、昨年はがん治療の重点化や教育施設の拡充などを目的とした別館が完成し、新病院建築から開始された一連のリニューアル計画が完了しました。特に「がん治療の重点化」については、今年1月より放射線治療が再開されたことで、がんの種類や進行度に応じて、手術、化学療法、放射線治療を組み合わせた集学的治療が当センター内で可能になりました。これらは、がんによる死亡率の高い地域のニーズに適切に対応するものであり、より一層地域医療の貢献に繋がるものと確信しています。

葛飾医療センターは「総合診療体制と救急体制を強化した地域密着型病院」をテーマに、安全・安心を前提とした、より効率的で質の高い医療を提供してまいります。引き続き地域の皆さまのご支援・ご協力を宜しくお願い申し上げます。

「葛飾医療センター」にリニューアルされて5年目を迎えました。「地域と共生し、進化・創造し続ける病院」を目標に、地域の医療ニーズに応えるべく当院はたえず進化しています。

本年1月には放射線治療装置による診療が開始され、多くの患者さんが治療を受けられるようになりました。また、登録医の拡大を図っており、広い地域の多くの医療機関から参加していただきました。救急受診、受診予約、紹介逆紹介の観点から、登録医の方々との医療連携が充実するように努力しております。

さらには、大学病院として医学教育にも携わっています。4月から8名の新研修医を迎えます。9月から新医学教育制度による学生がまいります。スチューデントドクターとして基礎的な知識を備え、医師の後について実臨床を学びます。

私は4月から副院長となり、当院の医療連携と教育の発展に一層の努力をしまっている所存です。今後とも「葛飾医療センター」へのさらなるご支援をお願いいたします。



副院長 根本 昌実



WEB外来診療予約を開始致しました

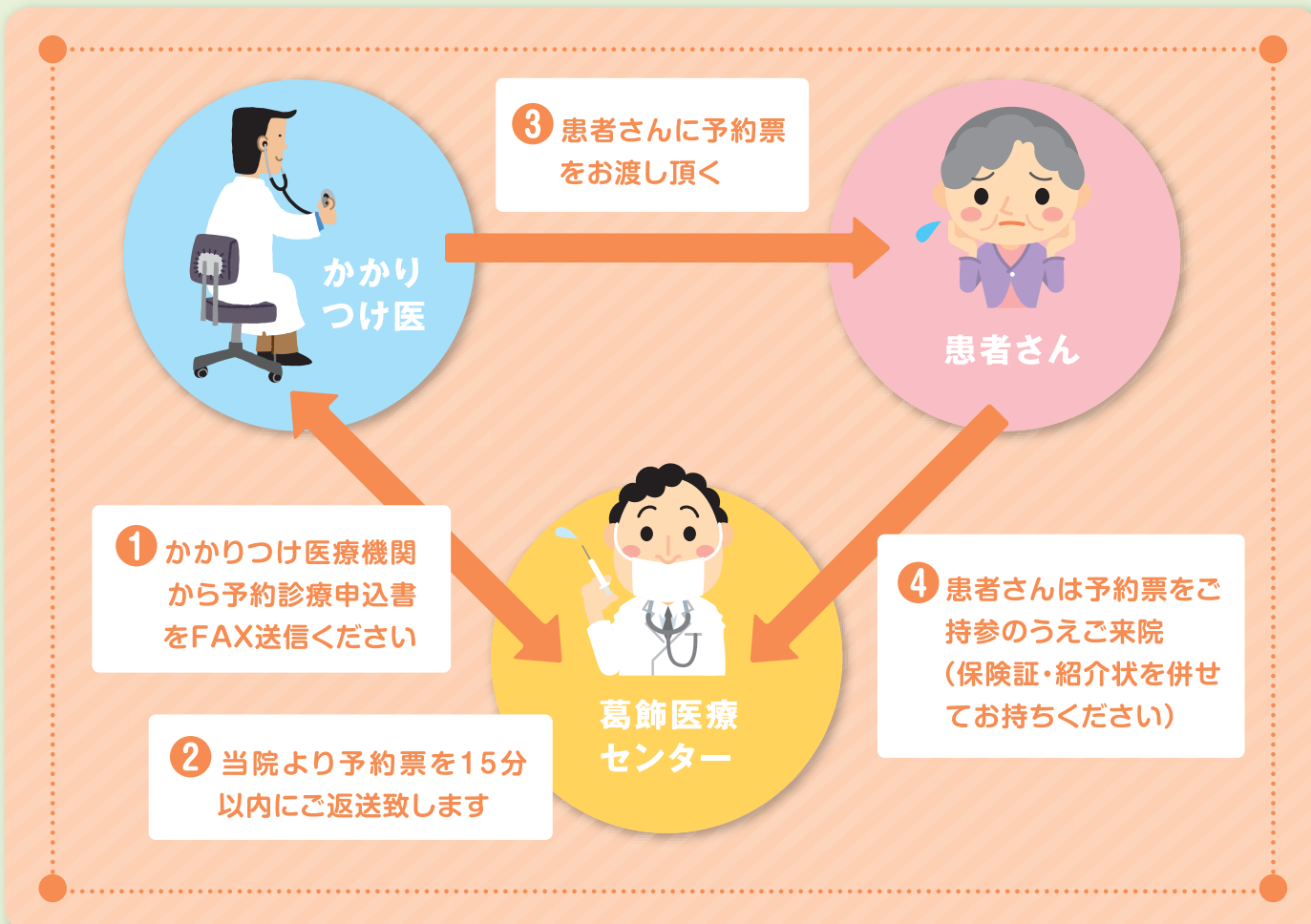
当院では患者さんの待ち時間解消の1つとして、初診の方でもご利用頂ける「**FAX予約システム**」を運用してまいりました。今回それに加えまして平成28年3月より、「**WEB予約システム**」の運用を開始致しました。

かかりつけ医療機関から24時間365日いつでもお申し込みを頂くことが可能です。また、FAX送受信のやりとりが当院とかかりつけ医療機関の間でなくなるため、かかりつけ医療機関での待ち時間が軽減すると想定しております。

WEB予約システムは、FAX予約システムと同様にかかりつけ医療機関からお申し込み頂くことが必須ですが、かかりつけの先生に紹介状を書いて頂くことで診察内容や治療等のスケジュール、料金に対する患者さんのメリット（同じ検査をせずに済み、保険外併用療養費のご請求もありません）もございます。

是非、先生方はじめ患者さんも当院の「**FAX予約システム**」「**WEB予約システム**」を積極的にご利用頂きたいようお願い申し上げます。予約受付窓口は入退院・医療連携センター医療連携部門が担当しております。

FAX予約システムのお申し込みの流れ





WEB予約システムのメリット

24時間受付が可能となる

- 予約取得がPCからの操作で可能となるため、患者さんの待ち時間が減る
- その場で予約票を出力し、患者さんにお渡し可能となる
- 予約の空き状況が確認可能となる
(従来の電話でご確認頂くような手間がなくなります)

WEB予約システムの注意点

- 患者さんからの申込はできません
- 専用のシステムをインストールする必要があります
- WEB予約システム運用規程にご同意頂く必要があります

WEB予約システム導入に関するお問い合わせ窓口

- 入退院・医療連携センター
医療連携部門

TEL:03-3603-2111

FAX:03-3690-7474

WEB予約システムのお申し込みの流れ



かかりつけ医

① PCから予約取得し、
予約票をお出し頂く



患者さん

② 患者さんは予約票をご持参のうえご来院
(保険証・紹介状を併せてお持ちください)

※ FAXを介さないため、
お待ち頂くやりとりは
ございません



葛飾医療センター

東京慈恵会医科大学葛飾医療センター 放射線治療部門 再開のお知らせ

こ のたび2016年1月より、葛飾医療センター別館において最新の放射線治療機器（リニアック装置）を導入した放射線治療部門が5年ぶりに再稼働することとなりました。



葛飾医療センターは365床を有し、1日平均外来患者数が1100名を超える葛飾区における基幹病院として高度な医療を提供しております。

現在の日本では毎年およそ100万人が死亡しておりますが、そのうち34万人程度、つまり「3人に1人」ががんで亡くなっています。このような時代を反映して、葛飾医療センターにおいても大変多くのがん患者さんを治療しております。葛飾区にはこれまで放射線治療を施行できる施設が他になかった状況を考えますと、放射線治療部門の再開は地域に密着した当センターにとっても大変大きな意義があると考えます。

今回導入されたリニアックは、欧州を代表するエレクタ社製（スウェーデン）の最上位機種インフィニティ（infinity）です。このリニアックは都内において2台目となるもので、高度な位置ズレ補正技術、コンビームCTを搭載した画像誘導技術やIMRTなど高精度強度変調放射線治療を行う上で現在考えられるほとんどの機能が搭載されております。このような最新機器によって、これまでの2次元放射線治療から一挙に3次元・4次元放射線治療への道が開かれることとなりました。

現代のがん治療においては、脳腫瘍、乳がん、頭頸部がん、肺がん、消化器がん、婦人科がん、泌尿器がんなどいずれも、手術、化学療法、放射線治療を効果的に組み合わせた集学的治療が主流であり、現在では化学療法との同時併用による治療が標準的な治療として確立されつつあります。新設された葛飾医療センター別館においては化学療法部門もさらに拡充され、より緊密にがんに対する集学的治療が提供可能な環境が整ってきました。

患者の8割が葛飾区民である葛飾医療センターにおいては、しばしば進行した状態で診断されることがありますが、このような進行例ではより集学的治療が必要となりますが、この観点からも放射線治療部門の再開の意義がご理解されると思います。葛飾区の先生方や患者さんにとって、これまで諦めざるを得なかった高度な集学的医療に加え、緩和医療の提供にもお役に立つと考えておりますので、葛飾医療センターの各診療科の先生方にご相談頂ければ幸いです。

編集後記

新年度を迎え、気持ちを新たに生活のスタートをきった方もいらっしゃるかと存じます。葛飾医療センターも放射線治療外来、WEB予約システム稼働と新たな挑戦を始めました。皆様のご期待に沿えるよう成長し続ける病院として今後も精進してまいります。